



平成25年3月29日

各 位

会社名 株式会社 関西アーバン銀行
代表者名 頭 取 北 幸二
(コード:8545 東証・大証第一部)
問合せ先 執行役員経営企画部長 澤谷 和宏
電話番号 06-6281-7000(代表)

中期経営計画の策定について

株式会社関西アーバン銀行(頭取 北幸二)は、平成25年度から平成27年度までの3年間を対象期間とする中期経営計画を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画で目指すべき姿

「存在感」の高い関西No. 1広域地銀の実現 ～ 関西のマザーバンクへ ～

2. 期間

平成25年度～平成27年度 (3年間)

3. 中期経営計画の位置づけ

合併後の助走期間を終え、「存在感」の高い関西No.1の広域地銀を目指し、中長期的な展望を視野に入れた新たな中期経営計画をスタートします。中小企業のお客さまへのサポート並びに個人のお客さまに対するサービスの充実により、顧客基盤の一段の拡充を図り、関西における存在感を高めるとともに、地域経済・社会の発展に貢献してまいります。

4. 中期経営計画の基本テーマ

SMBCグループの地域銀行として、関西圏で中小企業・個人のお客さまに地域密着営業を徹底し、ビジネスチャンスの拡大を図ってまいります。そのためにも、「関西をもっと元気に！」を行内共通のスローガンとして掲げ、以下の3つの基本テーマについて役職員一丸となり取り組んでまいります。

《基本テーマ》

(1)お客さまに選ばれる銀行

商品・サービスの提供から事務品質・接遇に至るまでお客さま満足度を飛躍的に高め、お客さまに支持される存在感の高い銀行を目指してまいります。

①法人向けトータルソリューション

ニュービジネス支援から再生支援まで、地域経済の活性化に努めるとともに、事業承継やM&Aを中心に積極的なトータルソリューションを提供してまいります。

②個人向け金融コンサルティングビジネス

日本版ISA導入を控え、金融コンサルティング力を一段と高め、投資信託・保険を含む総合的な預かり資産ビジネスに注力してまいります。

(2)安定した収益基盤の確立

本中期経営計画の初年度より、「コア業務純益250億円以上」、「当期純利益100億円以上」、「コアOHR60%台前半」の財務目標を達成し、安定した収益基盤を確立してまいります。

(3)健全な企業基盤の確立

人材の育成、リスクマネジメントの強化、コンプライアンスの強化により、安定強固な企業基盤を確立するとともに、環境に配慮した企業活動を通して、健全な地域社会の発展に貢献してまいります。

5. 中期経営計画の戦略

別紙に概要を図表化しておりますので、ご参照願います。

6. 計数目標

	24年度(見込)	25~27年度(毎年)
コア業務純益	260億円	250億円以上
当期純利益	▲75億円	100億円以上
コアOHR	61.4%	60%台前半

以 上

経営方針

「地域に密着した真に一流のリージョナルバンクへの挑戦」

地域重視、お客さま重視の徹底により、お客さまに信頼されお役に立つ、地域と共存共栄する銀行を目指します。

「高い経営効率と強靱な経営体力の構築」

強固な顧客基盤の確立と健全かつ効率的経営によって持続的安定成長を実現し、企業価値向上を目指します。

「活力溢れる逞しい人材集団の形成」

風通しのよい自由闊達な企業風土を醸成し、お客さまに信頼される逞しい人材の育成に努めます。

中期経営計画

基本テーマ

SMBCグループの地域銀行として、関西圏で中小企業・個人のお客さまに地域密着営業を徹底し、ビジネスチャンスの拡大を図る。

「お客さまに選ばれる銀行」

商品・サービスの提供から事務品質・接客に至るまでお客さま満足度を飛躍的に高め、お客さまに支持される存在感の高い銀行を目指す。

- ①法人向けトータルソリューション
- ②個人向け金融コンサルティングビジネス

「安定した収益基盤の確立」

本中期経営計画の初年度より、「コア業務純益250億円以上」、「当期純利益100億円以上」、「コアOHR60%台前半」の財務目標を達成し、安定した収益基盤を確立する。

「健全な企業基盤の確立」

人材の育成、リスクマネジメントの強化、コンプライアンスの強化により、安定強固な企業基盤を確立するとともに、環境に配慮した企業活動を通して、健全な地域社会の発展に貢献する。

《目指すべき姿》

「存在感」の高い
関西No.1広域地銀

基本戦略

- ◇地域密着営業の徹底
- ◇法人のお客さまへのトータルソリューションの提供
- ◇個人のお客さまへの金融コンサルティング力強化
- ◇ブランド力・地域貢献力の向上
- ◇中長期的な視野に立った人材力の強化
- ◇専門スキルの高い人材の育成
- ◇リスク管理、コンプライアンス態勢の強化
- ◇安定した企業体質、経営効率改善への取組み

計数計画

	24年度(見込)	25～27年度(毎年)
コア業務純益	260億円	250億円以上
当期純利益	▲75億円	100億円以上
コアOHR	61.4%	60%台前半

Ⅱ. 中期経営計画の基本戦略

《カテゴリー》	《テーマ・方向性》	《具体的施策》
お客さまに 選ばれる 銀行	地域密着営業の徹底	〈法人戦略〉 ①法人強化店の設置、専担者の配置 ②本部サポート部門の強化 ③事業承継・M&A業務の取組拡大 ④ニュービジネス・成長分野への対応強化 ⑤海外進出等のサポート力強化 ⑥ハウジング業務の本部集約 ⑦「事業再生支援室」の設置によるコンサルティング機能の強化 〈個人戦略〉 ①顧客の基盤となる生活口座の獲得強化 ②各階層に即した預かり資産販売提案力の強化 ③日本版ISAへの対応力強化 ④パーソナルローン等、リテール融資の強化 〈チャンネル戦略〉 ①存在感の高い店舗ネットワークの構築 ②ダイレクトバンキング機能の充実 〈ブランド戦略・地域貢献〉 ①「CS推進部」の設置によるお客さま満足度向上の取組強化 ②商品・サービス・事務品質・接遇マナーに関する向上 ③広域地銀としてのCSR・環境保全活動の実施 ④地域の発展に資するプロモーションの展開
	法人のお客さまへのトータルソリューションの提供	
	個人のお客さまへの金融コンサルティング力強化	
	ブランド力・地域貢献力の向上	
健全な 企業基盤 の確立	中長期的な視野に立った人材力の強化	〈人材育成〉 ①マネジメント層における人材力強化 ・営業推進、コンプライアンス、人間力の向上 ②若手職員の早期育成 ・マネジメント層への早期登用 ・金融プロフェッショナルの育成 ・教育・研修制度の充実 ③ダイバーシティの推進 ・多様な人材の登用 ・再雇用者等、専門スキル保有者の活用 〈リスク管理〉 ①信用リスク管理の高度化 ②コンプライアンス態勢の強化 ③統合リスク管理の強化 ④流動性・市場リスク管理の高度化 ⑤監査機能の高度化 〈経営効率〉 ①ローコストオペレーションの徹底 ②BPRによる生産性の一段向上 ③グループ会社との連携強化
	専門スキルの高い人材の育成	
	リスク管理・コンプライアンス態勢の強化	
	安定した企業体質、経営効率改善への取組み	
安定した収益基盤の確立		

存在感の高い関西N.O.1広域地銀へ

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものでなく、リスクと不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い、予想対比変化することにご留意ください。